

## 第 82 回九州循環器撮影研究会プログラム・抄録集

テーマ 『小児心臓カテーテル検査』

日時：令和 6 年 3 月 9 日（土） 14:00～17:00

会場：ハイブリッド形式

【現地開催】九州大学病院ウエストウィング 3 階 臨床小講堂 2

【オンライン】Zoom Meetings

14:00～14:05 開会挨拶と進行説明

14:05～14:45 『初学者必見！小児心臓カテーテル検査を担当する RT が  
知っておきたいこと』

九州大学病院 医療技術部 放射線部門 宮崎 仁志 先生

14:45～15:10 『先天性心疾患における経皮的カテーテル閉鎖術の治療デバイスについて』  
アボットメディカルジャパン合同会社  
ストラクチャルインターベンション 西日本ディストリクト 池田 公一 先生

15:20～16:05 パネルディスカッション 『共有しよう！各施設の運用や取り組みについて』  
『当院の小児心臓カテーテル検査の運用について』

久留米大学病院 放射線部 山口 政親 先生

『小児心臓カテーテル検査について』

聖マリア病院 診療放射線室 村田 貴史 先生

『福岡市立こども病院における小児心臓カテーテル検査』

福岡市立こども病院 放射線部 廣島 雅子 先生

『九州大学病院における小児心臓カテーテル検査・治療の運用』

九州大学病院 医療技術部 放射線部門 大浦 宏二 先生

16:10～17:00 特別講演『小児における心臓カテーテルの役割』

九州大学病院 小児科 長友 雄作 先生

『初学者必見！小児心臓カテーテル検査を担当する RT が知っておきたいこと』

九州大学病院 医療技術部 放射線部門

宮崎 仁志 先生

先天性心疾患に対して行われる小児心臓カテーテル検査・治療は、解剖や循環動態が複雑なため、理解が容易ではなく、初学者にとってハードルが高い分野だと思う。本講演では、小児心臓カテーテル検査を担当する RT が知っておきたいこととして、右心カテの基礎や循環動態、先天性心疾患の治療方針、手術の概要について、初学者にも理解していただけるように基礎的な内容を解説する。最後に、小児心臓カテーテル検査による被ばく線量評価のトピックスについて紹介したい。

『先天性心疾患における経皮的カテーテル閉鎖術の治療デバイスについて』

アボットメディカルジャパン合同会社

ストラクチャルインターベンション 西日本ディストリクト

池田 公一 先生

先天性心疾患における経皮的カテーテル閉鎖術で用いられる国内で使用できる治療デバイスをご紹介します。ASD（心房中隔欠損症）・PDA（動脈管開存症）・PFO（卵円孔開存閉鎖術）・VascularPlug（血管塞栓用）各デバイスの製品概要と特性、現行の治療器具との違い、症例の際に必要なとされる確認ポイントなどをご説明させていただきます。

『当院の小児心臓カテーテル検査の運用について』

久留米大学病院 放射線部

山口 政親 先生

当院では、2台の血管撮影装置（Canon社製 Alphenix Biplane Evolve Edition, SIEMENS社製 Artis Zee BC PURE）を使用して、経皮的心房中隔欠損閉鎖術や経皮的動脈管開存閉鎖術など各種小児心臓カテーテル治療・検査を行っている。

本発表では、透視・撮影条件、血管計測のキャリブレーション方法および患者固定方法など当院の運用について紹介する。

### 『小児心臓カテーテル検査について』

聖マリア病院 診療放射線室

村田 貴史 先生

近年の少子高齢化に伴い、小児人口の減少が持続しているが、先天性心臓病の発生頻度は約1%と大きな変動はなく推移している。当院は、生児期から乳児・小児・青年・成人・壮年・老年に至るまでのさまざまな先天性心臓病の方々の診療・治療を行っている。小児心臓カテーテル検査を安全に行う上で、注意すべき点や被ばく低減の方法など、当院の行っている工夫や対策を含めて紹介する。

### 『福岡市立こども病院における小児心臓カテーテル検査』

福岡市立こども病院 放射線部

廣島 雅子 先生

福岡市立こども病院での心臓カテーテル検査・治療の件数は年間 520 例程であり、その多くが先天性心疾患を有する小児である。今回、当院で行っている患者の年齢に応じた固定方法や、放射線被ばく管理の現状、検査中の診療放射線技師の役割などを紹介する。

### 『九州大学病院における小児心臓カテーテル検査・治療の運用』

九州大学病院 医療技術部 放射線部門

大浦 宏二 先生

当院における小児心臓カテーテル検査・治療は、年間で約 200 症例行っており、検査と治療の割合は、おおよそ 3:2 である。X線装置は、Artis Q.zen (SIEMENS)、造影剤自動注入装置は、Zone Master (シーマン株式会社) を使用している。本発表では、当院の小児心臓カテーテル検査の運用に関して、患者の体重に応じた対応や工夫などを含めて紹介する。

### 特別講演『小児における心臓カテーテルの役割』

九州大学病院 小児科

長友 雄作 先生

CT や MRI をはじめとした様々な検査法が発達した現在でも、多くの小児心疾患の正確な診断や病状評価には心臓カテーテル検査が欠かせません。さらに、様々な治療デバイスが次々に登場しており、心臓カテーテルの果たす役割はますます拡大しています。いくつかの小児心疾患を交えながら、小児ならではの検査の注意点や治療の実際について解説します。